

企 画 展

砂浜の自然を考える

令和5年 1 / 28 (土) ~ 3 / 21 (火・祝)

ギャラリートーク

2月11日(土)祝

講師 ウミガメリブ絵本製作
実行委員会
代表 安部ゆき氏



ギャラリートーク

3月12日(日)

講師 ボタニカルアーティスト
渡辺法子氏



姫路市立水族館

TEL(079)297-0321 FAX(079)297-3970



開館時間

午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週火曜日

※3月21日(火・祝)は開館

料金 大人 520円
小・中学生 210円

※団体のお客様につきましては
ホームページをご覧ください

交通のご案内

電車でお越しの方
山陽電車「手柄駅」
下車：徒歩10分

バスでお越しの方
「西延末 姫路市立水族館北」
下車：徒歩5分

お車でお越しの方
姫路バイパス
「中地I.C.」から5分

協力：一般社団法人 JEAN、ウミガメリブ絵本製作実行委員会、渡辺法子(敬称略)

新型コロナウイルス 感染防止対策について

姫路市立水族館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため以下の対策を徹底しています。
■スタッフのマスク着用 ■換気対策 ■施設の消毒 ■検温や入館制限の実施 ■館内イベント、一部展示の中止
お客様におかれましても、館内各所に手指消毒用アルコールをご用意しておりますので、ご利用いただきますようお願いいたします。

砂浜は自然豊かなワンダーランド

近年、環境問題として海ごみがクローズアップされ、各地で砂浜のクリーンアップ活動が行われています。しかし、砂浜の自然や生態系、砂浜のもつ役割や特性については、あまり知られていないのではないでしょうか。砂浜に腰かけて波の音色を聴き、足元の植物を観察すると、砂浜が生きものたちの命あふれる自然豊かな空間だということに気付くことでしょう。この企画展では、砂浜の自然や現状を紹介するとともに、漂着物を題材にした作品も展示しています。砂浜の自然や海の問題に少し思いを寄せてみませんか。



コウボウムギ



ハマボウフウ



ウンラン



ハマヒルガオ

鳴き砂体験



「鳴き砂」とは、歩くと「キュ、キュ」と音が出る砂のことです。鳴き砂には石英という鉱物が多く含まれていて、石英のかたまりどうしがこすれ合うことで音を奏でます。鳴き砂の条件は、石英を多く含むことに加えて、海や砂浜がきれいであることです。鳴き砂の浜は全国に数えるほどしかありません。

ポタニカルアーティスト 渡辺法子氏の作品展示



国内外で活躍されているポタニカルアーティスト渡辺法子氏の作品を展示します。漂着物や海藻に着眼し描かれた作品は、とても緻密でまるで命が吹き込まれたようです。展示作品は、アナアオサ(写真)やマメダワラ、ワカメなど7点です。

※展示作品は変更になることがあります

記念イベント

ギャラリートーク

2/11
(土祝)



プロフィール 安部ゆき

1979年岐阜県生まれ。ダイビングのインストラクターとして経験を積み、2006年に島根県隠岐に移住。現在もインストラクターとして多くの人に海の魅力を伝えている。

2020年夏に隠岐の海岸で1頭のアカウミガメが漁網に絡まり瀕死の状態で見つかり保護されました。『リブ』と名付けられたこの個体は右前足が壊死し片足を失いましたが、懸命のリハビリを経て2021年夏に海に還りました。この物語は絵本となり海の環境問題を私たちに問いかけています。

このイベントでは、絵本製作実行委員会のメンバーの方々から絵本を解説していただきます。

ギャラリートーク

3/12
(日)



プロフィール 渡辺法子

1954年広島県生まれ。大阪芸術大学卒業後、海外に渡り植物画を学ぶ。国立科学博物館や海外の展示会で高い評価を得るなど、世界で注目されている。

企画展会場にて、ポタニカルアーティスト渡辺法子氏によるギャラリートークを開催します。渡辺氏は植物に造詣が深く、砂浜に漂着した海藻や貝殻も描かれています。その作品は国内外で高く評価され、2022年夏にはオーストラリアのポタニカルアート協会から「今年の4人の1人」に選ばれました。

このイベントでは、作品を手がけた背景からその手法まで、多岐にわたるいろいろお話ししていただきます。

